



## 病院図書室移転作業（抄録）

谷口裕美子

### I. はじめに

八尾市立病院図書室は、平成27年3月20・21日に敷地内に建設された北館に移転した。図書室の総面積は52.661 m<sup>2</sup>から45.62 m<sup>2</sup>へと縮小されたため、収まりきれないものは廃棄を余儀なくされた。移転事例を報告する。

### II. 事例報告

図書室のレイアウトと什器の選択は、事務局と図書委員長がおおまかに決め、図書室担当者は、事務机の方向や作業スペースの取り方など細部の希望を出した。

雑誌・図書の取捨選択は、各所属長にアンケート形式で確認し、委員会にて承認した。

什器は、移動棚5列を廃棄、新しくスライド棚4列購入。閲覧用机（6人掛け）2個のうち1個をパソコンデスク4個に変更。雑誌用ラックを1個（30誌配架可能）廃棄。

廃棄作業は引っ越しの1カ月前に図書室担当者が業務中に少しずつ箱詰めし、2回に分けて業者に回収してもらった。

引っ越し作業は、引っ越し日の前後1週間で行った。梱包作業は図書室担当者2名で行い、移動作業については、什器は業者、段ボールは病院事務員4名で行った。

### III. 考察

引っ越し前は開室しながらの作業ということで、箱詰めした段ボールの置き場所に困った。最初に机を一つ解体するべきだった。

引っ越し後は狭い場所に段ボールが重ねて詰め込まれ、配架したいものを取り出すのに苦労した。本棚にくっつけて置くのではなく、作業用の場所を空けてから置くべきだった。

狭い場所での引っ越し作業はワークスペースの確保が重要である。